



2013年12月19日 (木)



ニュース | オピニオン | スポーツ | エンタメ | 文化 | 暮らし | 特集・連載 | 地域
総合 | 社会 | 政治 | 経済 | 国際 | サイエンス

[PR] 初年度年会費無料! 最大25500マイル贈呈♪ロイヤリティ/口コミが最上級評価



4

ツイート <21

おすすめ <49

<2

記事を印刷

文字サイズ

小

中

「縄文の女神 3D」の記事をお探しですか? [最新関連記事が 10+ 件](#) あります。

3Dプリンター:触れる国宝「縄文の女神」 実物大で展示

毎日新聞 2013年12月17日 18時08分 (最終更新 12月17日 18時43分)

「[縄文の女神](#) ^{10+件}」の愛称で親しまれている国宝「西ノ前土偶」を、3Dプリンター技術で復元した実物大モデル(約45センチ)の展示が17日、山形県立博物館で始まった。高梨博実館長は「今後は、実際に触れる国宝として、県内外に普及させていきたい。目の不自由な方にも[縄文の女神](#) ^{10+件}を楽しんでもらいたい」と多くの来場を呼び掛けた。

これまで樹脂製のレプリカや3Dプリンター技術で3分の1の立体モデルが作られた。今回は、3Dプリンターを持つ電子機器製造業「神町電子」(東根市)の協力を得て作製した。

同社の板垣政則社長は「1体を作るのに約65時間かかった。1体をそのまま作ることはできず、2分割して作るようになった。もらったデータは一体型だったので、データ作りから始まった」と制作の苦勞を話した。

高梨館長は「約4500年前の実物と最先端の3Dプリンター技術で復元された立体モデルを比較して見てほしい」と話した。

立体モデルの縄文の女神は1階の入り口付近に展示される。
【山中宏之】



国宝土偶「[縄文の女神](#) ^{10+件}」(奥)と実物大モデル(手前) = 山形市霞城町の県立博物館で2013年12月17日、山中宏之撮影

[拡大写真](#)